

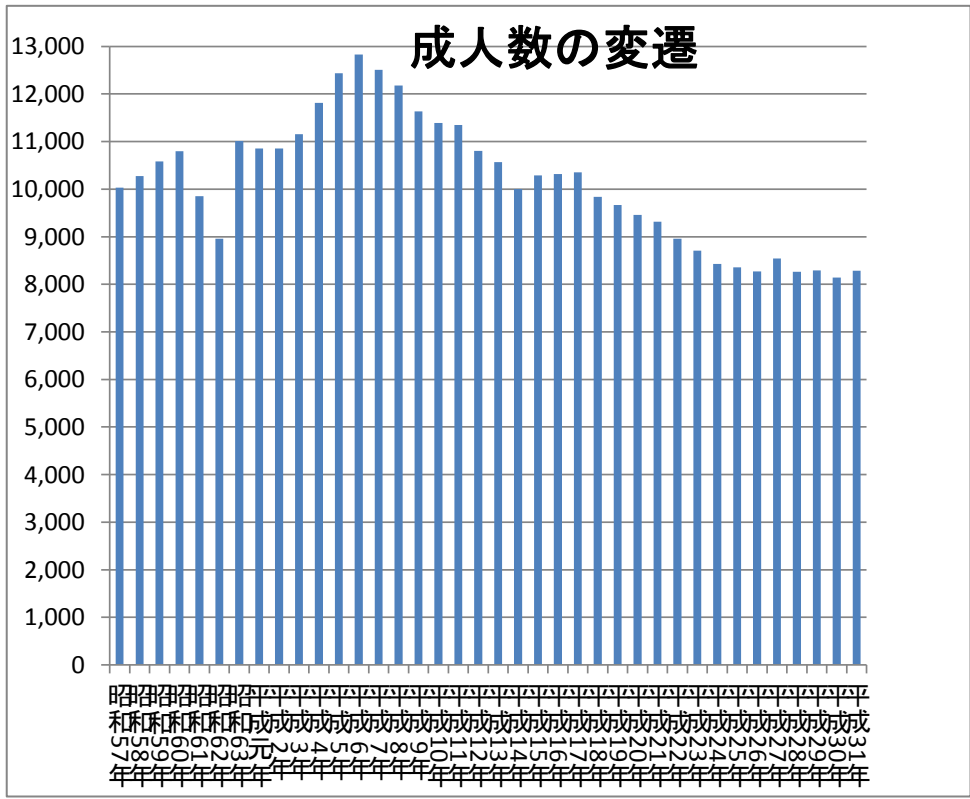
平成31年 新成人市町別人数一覧

・対象生年月日 H10.4.2～ H11.4.1

(平成30.12.1現在)

No.	市町名	男子(人)	女子(人)	合計(人)	前年数(人)	前年比(人)
1	福井市	1,361	1,328	2,689	2,588	101
2	敦賀市	336	339	675	670	5
3	小浜市	161	149	310	309	1
4	大野市	140	171	311	329	-18
5	勝山市	108	121	229	224	5
6	鯖江市	388	323	711	693	18
7	あわら市	150	145	295	275	20
8	越前市	425	462	887	880	7
9	坂井市	550	554	1,104	1,079	25
10	永平寺町	110	116	226	223	3
11	池田町	11	15	26	18	8
12	南越前町	65	57	122	128	-6
13	越前町	114	113	227	256	-29
14	美浜町	37	42	79	96	-17
15	高浜町	72	67	139	109	30
16	おおい町	56	38	94	93	1
17	若狭町	72	88	160	171	-11
	(県) 合計	4,156	4,128	8,284	8,141	143

年順				多→少	
昭和57年	10,030	前年度比	ピーク時比	平成6年	12,827
昭和58年	10,276	246	-2,551	平成7年	12,505
昭和59年	10,581	305	-2,246	平成5年	12,438
昭和60年	10,796	215	-2,031	平成8年	12,175
昭和61年	9,854	-942	-2,973	平成4年	11,813
昭和62年	8,959	-895	-3,868	平成9年	11,635
昭和63年	11,008	2,049	-1,819	平成10年	11,388
平成元年	10,856	-152	-1,971	平成11年	11,351
平成2年	10,854	-2	-1,973	平成3年	11,155
平成3年	11,155	301	-1,672	昭和63年	11,008
平成4年	11,813	658	-1,014	平成元年	10,856
平成5年	12,438	625	-389	平成2年	10,854
平成6年	12,827	389	0	平成12年	10,801
平成7年	12,505	-322	-322	昭和60年	10,796
平成8年	12,175	-330	-652	昭和59年	10,581
平成9年	11,635	-540	-1,192	平成13年	10,565
平成10年	11,388	-247	-1,439	平成17年	10,354
平成11年	11,351	-37	-1,476	平成16年	10,320
平成12年	10,801	-550	-2,026	平成15年	10,290
平成13年	10,565	-236	-2,262	昭和58年	10,276
平成14年	10,000	-565	-2,827	昭和57年	10,030
平成15年	10,290	290	-2,537	平成14年	10,000
平成16年	10,320	30	-2,507	昭和61年	9,854
平成17年	10,354	34	-2,473	平成18年	9,836
平成18年	9,836	-518	-2,991	平成19年	9,666
平成19年	9,666	-170	-3,161	平成20年	9,460
平成20年	9,460	-206	-3,367	平成21年	9,313
平成21年	9,313	-147	-3,514	昭和62年	8,959
平成22年	8,958	-355	-3,869	平成22年	8,958
平成23年	8,704	-254	-4,123	平成23年	8,704
平成24年	8,424	-280	-4,403	平成27年	8,544
平成25年	8,355	-69	-4,472	平成24年	8,424
平成26年	8,270	-85	-4,557	平成25年	8,355
平成27年	8,544	274	-4,283	平成29年	8,293
平成28年	8,264	-280	-4,563	平成31年	8,284
平成29年	8,293	29	-4,534	平成26年	8,270
平成30年	8,141	-152	-4,686	平成28年	8,264
平成31年	8,284	143	-4,543	平成30年	8,141



- ・ 本県の成人数は、平成6年をピークに減少傾向
- ・ 新成人が生まれた平成10年、11年以降の出生数が減少傾向であることから、今後も成人数の大きな増加はないと思われる。
(転入等での多少の増加はあるが、ゆるやかな減少傾向が続くと考える)